

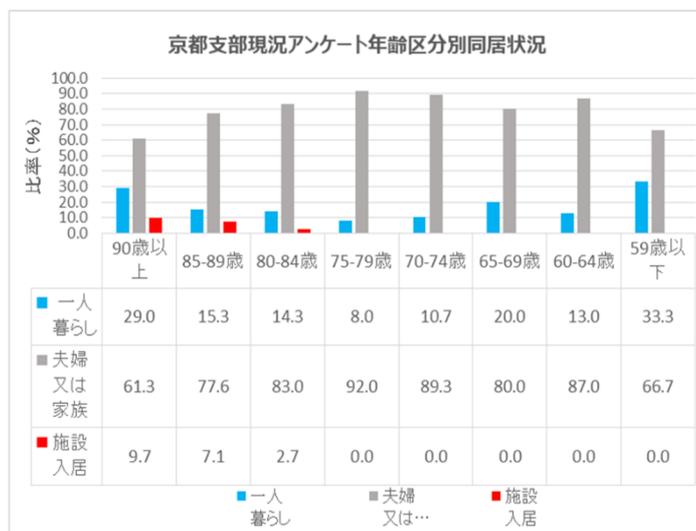
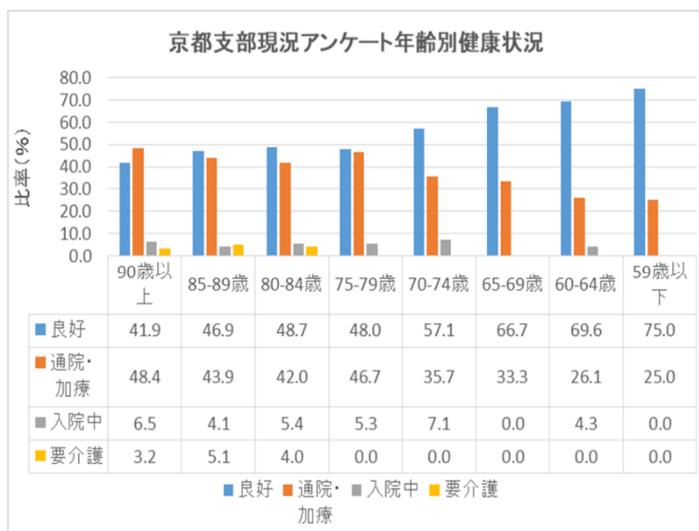
2023年度「友愛」現況調査の結果

今年の現況調査は昨年の集計結果ならびに要望事項を精査し、変化の兆しが現れる80歳以上の対象者と節目の65歳、70歳、75歳、新会員懇親会等の対象者に実施しました。

京都支部 1336人の中で上記対象者 521人の方より回答（回答率は81%）をいただきました。

アンケートの設問から、

- 1) 同居状況は、「一人住まい」は15%、「施設入居」は3%
- 2) 健康状態は、「通院」は41%、「入院・要介護」は8%
- 3) 日常生活は、「趣味・スポーツ・ボランティア・地域活動」は42%、「特になし」は42%



まとめ

・ 現況調査は80歳以上の方を中心に節目年齢の方の実態を調査。健康状況の設問では75歳頃から通院・加療が40%を超え、要介護（4、5）では80歳超えると現れる傾向があります。また、同居状況の設問では一人暮らし・施設の入居が80歳あたりから増加する傾向があります。

高齢化が進むなか日頃より食事・運動・会話など健康意識をもち継続しながら、健康長寿に努めることが大切です。

・ 調査方法は郵送や電話による回答のほかに、新たにフォーム機能による電子回答を加え、回答方法を多様化しましたが、皆さんへの広報不足、操作方法が不慣れ、個人認証登録が低いことで電子回答の難しさが課題となりました。

今後の友愛活動について

・ 支部が実施する現況調査を見直し、4月からの新慶弔見舞制度施行を契機に皆さんの自発的な現況情報の提供をしていただき、友愛活動を必要とする方を主体に活動する方向に移行してまいります。

・ 支部活動として、気軽に参加できる行事の実施と松愛会HPや支部だよりを活用した身近な情報を発信し、松愛会の仲間との親睦交流と健康長寿に関心を持ってもらえる取り組みを進めてまいります。